

安い中国製のキュービックジルコニア(CZ)が業界に広がっている。スワロフスキーのCZの流通が5月末以降に止まるとの影響から、様々なCZが出回っているようだ。

特に中国製のCZは、マシンカットとの説明があるそうだが、Hear&Cupidが出ない。何故ならプリフォーミングの段階でシメトリーにカットができていないので、ガードルの厚みや高さがバラバラになり、石留の際に欠けるなどの問題が多いといわれている。

中国製のCZの多くは、マシンカットといっても、一貫体制ではなく全てが分業制。テーブルならテーブル専門のカット業者がおり、各業者がそれぞれのファセットを担当するため精密に作るのは難しく、その分安価になっている。ポリッシュにおいても、中国の業者は通常使われるダイヤモンドパウダー(高価)を使わずに、オイル(安価)を使用するので輝かないものも多い。使われる原石も安いものが多く、小さいサイズだと分かりにくい、2mm以上の特に大きな石は青みが素材として出るので注意が必要となっている。

マシンカットの他には、セミマシンカットも存在する。これはマシンカットが精密にできていないために、手直しすることが主な仕事で、マシンカットよりも手直し分値段が高くなる。日本で一般的に考えられるCZのマシンカットに関する定義と異なっていることにも注意が必要だ。

日本国内で一般的なマシンカットの

CZの定義は、これまでにシグニティ・ジャパンが広めてきたスワロフスキー社による「フルマシカット製法」で、一部企業秘密があるものの、全てロボットによる作業で、誤差が±0.01とかなりの精度が保たれていた。一定のクオリティと精度の高さから、工場の職人から高評価を得て、値段が高くてもスワロフスキーのCZがよく売られてきたのは、理由があった。

元シグニティ・ジャパン社長で、現在チェコ共和国発のCZブランド「PRECIOSA(プレシオサ)」を展開するスーパーハードジャパンの杉浦正芳社長にCZのフルマシカット製法について話を聞いた。

杉浦氏によると、フルマシカット製法として原石をブリフォーミングからカット・研磨・品質管理を自社工場で一貫して製造し、トレース(追跡)できるCZメーカーは、世界でもスワロフスキー社とプレシオサ社だけではないか。中国製のCZでフルマシカット製法は有り得ない。その理由はフルマシカットを行う機器などの

導入費用が高いことで、トレースは担保できないから。同時に高い品質と精度も担保するスワロフスキー社のCZがこれまで高かったのは当然だと。さらに杉浦氏は「これからの時代に必要なSDGsを考えていく際に、サステナブル(持続可能性)とトレーサビリティ(追跡可能性)が明確な商品が必要不可欠になる。何処製にせよ、どの工場で作られたものかわからない商品は、ジュエリーとして相応しくない。『安かろう、悪かろう』の素材とは区別

していかなければ、ただ単に価格競争を招き、ジュエリーブランドの意味を無くしてしまう。プレシオサ社製のCZは、スワロフスキー社より安価に提供できるとの強みとなる。また誤差も±0.01mmの精度と追跡可能性、持続可能性を備えているので安心できる。ファインジュエリーストーンユーザー向けのIBパートナープログラム(顧客ブランドに対してプレシオサストーン・ロゴが使用可能)も用意されているので、これまでのスワロフスキー社と同様にブランドに特化した展開が可能。さらに、今までスワロフスキー社のみが行ったレーザー刻印もプレシオサ社の新しい技術革新により導入可能となり、エンドユーザーからのトレーサビリティも明確にできる。安いからにはそれなりの理由があるはずなので、エンドユーザーの安心に繋がる素材を選んでもらいたい」と指摘する。加えて「プレシオサ社製のCZは、今後、シーフォース(樹)の店頭やオンラインショップで購入可能となるので、準備が整い次第案内したいと思う」と付け加えた。

SDGsをはじめ、サステナブルやエシカルなどの言葉がジュエリー業界でも使われ始めている。ジュエリーの消費国、日本として考えるべき大切なことであることをまずは認識したい。地金については明確になっているが、CZだけではなく宝石、人工石などの情報開示はより明確になることが要求されてくるはずだ。素材を提供するメーカーが刻印を打つ意味は、商品の品質に対する責任であり、レストランなどが何処産の材料を使っているかを記載するのと同じこと。刻印を好まずに、まだまだ品質に対する責任を蔑ろにするジュエリーブランドが多いが、新しいマーケットに対してこれからできる他社との差別化は、

## 2030年までに達成すべき野心的な目標を発表 ダイヤモンドが与えるポジティブな影響を最大限にする

### デビアス・グループ

昨年の11月30日付で、デビアス・グループがこれからの10年間に取り組む12の野心的な目標を発表。ダイヤモンドが与えるポジティブな影響を最大限にすることに注力するなどし、目標の4つの柱として「業界全体の倫理的な行動をリードしていく」、「地域社会が反映していくための提携」、「自然界を守る」、「機会均等を加速する」を掲げた。

これらには、職場における男女機会均等の達成、ダイヤモンド産出国において1万人の女性起業家を支援すること、そして2020年までに自社の操業における二酸化炭素の排出量を相殺することなどが含まれている。

デビアス・グループの「Building Forever(永遠を築く)」フレームワークは、ビジネス戦略に根付いたアプローチで、採掘から販売に至るまでのダイヤモンドの旅を通じて、ダイヤモンドが与えるポジティブな影響を最大限にすることに注力する。12の目標もこのフレームワークの一環。これらの目標は、ダイヤモンド産出国から、デビアス・ジュエラーやフォーエバーマークが営業する30カ国以上の国々まで、世界中のデビアス・グループ従業員、パートナー会社、そして消費者を刺激し、皆でより良い未来を作ることを目指して設定された。

4つの目標の柱の具体的な内容は、①「業界全体の倫理的な行動をリードしていく」=「ベストプラクティスの原則」(業界をリードする倫理的、社会的、環境的基準をまとめたもの)を自社商品の供給過程だけでなく、業界全体の基準とする。採掘・販売されるダイヤモンドひとつひとつの産地と、その

ダイヤモンドがもたらす影響について明らかにする。零細採掘業者の生計を改善するための想定可能な解決方法を提供する。

②「地域社会が反映していくための提携」=国連の「持続可能な開発目標3(SDG3)」の健康に関する目標を、デビアス・グループが採掘を行うすべての国の地域社会において達成する。デビアス・グループがダイヤモンド採掘を行うすべての国の地域社会において、技術移転のためのパートナーシップを組む。デビアス・グループがダイヤモンド採掘を行う全ての国において、自社の雇用の4倍の外部雇用を支援する。

③「自然界を守る」=自社の操業において二酸化炭素の排出量を相殺する。水の使用量を半減する。生物多様性のために、差し引きでプラスの影響をもたらす。

④「機会均等を加速する」=全ての職場において、男女の機会均等を含む機会平等を達成する。1万人の女性起業家を、STEM(科学、技術、工学、数学)分野で学ぶ1万人の少女を支援する。ダイヤモンドジュエリーの分野においてクリエイティブスタッフの多様性を増やす。

デビアス・グループのCEO、ブルース・クリーヴァー氏は「世界をリードするダイヤモンド会社として、また国連の『持続可能な開発目標』を達成するための『行動の10年』への呼びかけに答え、我々はダイヤモンドが採掘される地域とそこに暮らす人々に永遠的な利益を創出するための、またとない機会を与えられると同時に、重大な責任を負うことになりました」と説明し、「ダイヤモンドは誇りを持って贈り、身に着けることのできる宝石です。今回12の目標を発表し、これから先も進展をご報告することにより、自然界を守り、人々の生活をより良いものとするために、デビアス・ジュエラーやフォーエバーマークのダイヤモンドがどのような役割を果たしているかをより深くご理解いただければと思います」とコメントしている。

また、それに付け加えてデビアス・グループのサステナブルインパクト部門シ

ニアバイスプレジデントのケイティ・ファークソン氏が「何十億年も前に地中深くで生まれたダイヤモンド。人類によって発見されたのも何千年も前のことです。自然からの贈り物であるダイヤモンドは、採掘された地の自然や地域社会と深い繋がりを持っています。ダイヤモンドに関わる様々な分野において、そして産出国の地域社会において、ポジティブな影響をもたらすための当社の近年の努力には大きな進展が見られました。しかし、まだできることはたくさんあります。2030年まで、これらの野心的な目標を達成するために、革新的であり続け、挑戦し続け、そしてパートナーである産出国の地域社会から学び続けたいと思います」と説明した。

2030年までに達成すべき12項目の「Building Forever」の目標とそれを支える実施計画、投資、指標は、「ポジティブで持続的な影響をもたらす」というデビアス・グループの展望をさらに広げるための、長年にわたるプログラムの成果となる。デビアス・グループのビジネスユニットのみならず、長年付き合っているパートナー、新たなパートナーを含み、国と地域社会の発展に関わる優先事項をふまえたうえで、経営的にも経営陣の評価やボーナスの仕組みにも、これらの要素が組み込まれている。この目標を達成するために、デビアス・グループは革新的な最新技術も取り入れている。ダイヤモンドの来歴や天然であること確認するためのTracr™、様々な採掘技術、キンパーライト(ダイヤモンド原石の母岩)に待機中の炭素を吸収・貯蔵するCarbon-Vault™などはその一例。デビアス・グループは引き続き、ファウンダー・インターナショナル、ピース&パース財団、UN Women、WomEng、スタンフォード大学経営大学院、そしてパートナー国の政府といった経験豊かな専門機関の助言を得ながら、2030年の目標に向かって努力するとしている。なお、Building Foreverに関する詳しい内容はwww.debeersgroup.com/2030goals(英文)で確認できる。

## 持続可能性と追跡可能性が明確に担保できる商品選びが重要になる

## ジュエリーコーディネーター(JC)っておもしろい！！

連載 ③

### 浅川風彩さん インタビュー



浅川風彩(なぎさ)さん JC3級 宝美校在学中に取得

山梨県立宝石美術専門学校(宝美校。飯野一朗校長)は、わが国唯一のジュエリーを学ぶ公立専門学校。ジュエリー産地山梨の業界との密接な連携は、充実したカリキュラムにも反映されている。平成30年4月に就任した飯野校長の教育目標「自分のデザインを自分の手でジュエリーに」の「ものづくり」を根幹とした新しいカリキュラム。普遍的な基礎能力と、高い創造力を持った人材育成が宝美校の基本となっている。

今回インタビューに応じてくれたのは、JC2級資格取得の浅川風彩さん(3年生、21歳)。県内の高校を卒業して、宝美校に入学した。

宝美校を進学先に選んだ理由は

高校在学中にKoo-fu(クーフー:山梨のジュエリーブランド)のデザイナーの存在を知って、ジュエリーのデザインをやってみたくて入学を希望しました。前から絵をかくこと、デザインすることなどが好きだったのでこれだ!と思いました。

JCの資格を取ろうと思ったきっかけは?

宝美校では1年生の講義の中でJC検定に関連したカリキュラムが導入されていたので、1年生の3月

にJC3級を受験して、資格を取得しました。更にJC2級も取得したいと思い、2年生の時にJC2級を取得しました。

JC受験の勉強方法は?

とにかく過去問を徹底的にやりました。わからないところは先生や非常勤の先生に聞いて知識を深めたのが力になったと思います。

受験してよかったと思う点は何ですか?

授業の中だけでは勉強できない広範囲の知識を得ることが出来たのが良かったと思います。

### CT スキャン使用 天女、花珠、鑑別書

日本真珠学術協会

〒110-0005 東京都台東区上野 5-22-1 井上ビル4F TEL:03-3836-2507 FAX:03-3836-2689

商品としてのジュエリーとか、知らなかった素材の知識も深く知ることが出来たと思います。

卒業後の進路についてどのように考えていますか?

得意なデザインに関連した仕事を指しています。デザインを力に商品開発、企画方面の仕事をしたいと思っています。

インタビュー時もハキハキと自分の意見を表現する浅川さんは、2学年ですでにJC2級を取得しているという頑張り屋さんだった。

昨年11月に開催された「ジュエリーウィーク」イベントのひとつ、「宝美校トークショー」にも登壇して、自分が制作し

たデザイン、作品について、堂々と紹介する姿はさすが、と思わせる一面も見せていた。

今回インタビューに同席していたいた穂坂先生にJC資格取得について聞いてみた。

「宝美校では卒業までにJC3級の資格取得者はほぼ100%。より専門性の高いカリキュラムを目指してJC2級の受験も推奨している。今年も、浅川さんの他に3名がJC2級を取得している。

JC3級はほぼ全員取得しているの、やはりJC2級資格者の就職率、希望企業、職種への内定率は高くなっている」と話してくれた。

平成27年度、2年制から3年制に移行し、更にデザイン力、制作力の専門性が高まり、JC資格取得にも力を入れている宝美校は、これからの日本のジュエリー業界を担っていく若手ジュエラー輩出専門学校として、業界から大きな期待が寄せられている。

ニューノーマル時代に求められる  
イヤリングの新定番!!  
**New!!** ラウンドイヤリング  
ピアスに見える 極細デザイン  
プレス加工により、  
軽さと強度の両立を実現!  
チャームを下げたり、パールを芯立ても可能  
1955年創業 国内生産ジュエリーメーカー  
本社：山梨県甲府市中央3049番地 TEL:0551-28-4181  
東京オフィス：東京都台東区上野5-16-10 小杉ビル3階 TEL:03-6906-0940

中央宝石研究所 セミナーガイド  
各種セミナースケジュール  
各講座の受講料(税込)  
受講料(税込) ●オリジナルコース：カリキュラム、日程、会場等、ご相談ください。 ●短期セミナー：CGLお任せコース、ベーシック、ダイヤ、パール等各種セミナーを開催しております。 ☆新人・中途採用社員の即戦力を望むオーナー、教育担当の皆様へ、社員研修はCGLへお任せ下さい。  
資料請求は無料です。お電話 又は FAX で受付中。  
中央宝石研究所 (CGL)  
東京都台東区上野5-15-14 ミヤギビル6階 TEL:03-3837-0855 / FAX:03-3839-1455

大人気 修理機 FIXER がパワーアップしました!  
修理・リフォーム 時計彫りなど 特殊な修理を得意とする ~WOODY BELL~  
Woody Bell (ウッディー ベル)  
東京都台東区東上野2-10-2第5政木ビル3階 TEL:03-5688-2390  
http://woodybell-j.com/ e-mail:woodybell12@gmail.com

金屋 きんや  
チェーン&パーツ 世界へ発進! 中川装身具工業 株式会社  
東京【御徒町】 〒110-0005 東京都台東区上野5-16-12 TEL:03-5688-1377 FAX:03-5688-1380  
大阪【南久宝寺町】 〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町2-6-15 TEL:06-6253-2053 FAX:06-6253-2054  
香港【九龍】 No.2,13/F,Wah Hung Center,41 Hung To Road, Kwun Tong,Kowloon,Hong Kong TEL:852-2766-2878 FAX:852-2766-2782